

こども読書週間 標語「はじまるよ！本のカーニバル」

今日からこどもの日をはさんだ2週間が「こども読書週間」です。各学校では、何かしらの読書推進の取組がなされていることでしょう。この期間は、休日も多いので、子どもたちが読書の時間をみつけやすいです。ぜひ、何か働きかけをして子どもたちに本が身近になるようにお願いします。十日町情報館では、下記のような様々なイベントを企画しています。子どもたちに紹介していただければありがたいです。

(1) わくわくおたのしみぶくろ

袋に入った2冊セットの絵本。何が入っているかは、借りてからのお楽しみです。

(2) こども映画会

4月29日(日) ①午前10時30分～11時30分 ②午後2時～3時

場所は視聴覚ホールです。「ねぎぼうずのあさたろう」ほか、楽しい映画を上映します。

(3) 囲碁・将棋開放コーナー

ブームになっている囲碁・将棋を楽しめるコーナーを土日祝日限定で開放します。

午前9時～午後5時 第3集会室 OR 第2集会室

(4) おはなしぴよぴよ春のカーニバル

5月12日(土) 午後2時～3時30分

対象；幼児～小学生 第3集会室 先着20名(事前申込が必要)

(5) H29をふいかえる展

H29年度における情報館の活動を、パネル展示でふり返ります。

新聞の活用

教育センターの会議で話題になったことの中に「新聞を読む子は学力が高い」というものがありました。学力向上のために様々な策が講じられています。その中には、新聞を活用した取組もあります。私も、新聞を使った経験があります。どんなことだったかを紹介します。

- ・日直がその日の新聞記事から気になるものを選ぶ。
- ・どんな内容か、なぜその記事を選んだのか、感想等を書く。(文字数は100～150字程度)
- ・それを学級通信に載せて、全員で読み、学級で共有する。

というものです。その当時、勤務していた学校がNIEの研究指定を受けていたので、毎朝、新聞が1部教室に届きました。子どもたちは、様々な記事を選んで、楽しく活動しました。

新聞には、普段の会話では使わない言葉がたくさん載っています。新聞を読まなければ目にふれることもない言葉もあります。本も同じですが、新聞を読むことで「言葉を知る」つまり「語彙を増やす」ことができるのです。語彙が増えることで、考えを豊かにしたり、深めたりできます。

今、新聞を購読していない家庭が増えていきます。学校で、新聞を読む機会をつくることも必要ではないでしょうか。例えば、学校で購入している新聞を1日おくれでいいから教室にもっていき、子どもたちに渡す…というのでもいいし、新聞販売店に声を掛けて1部寄贈してもらおうとか…。できることから始めてみませんか？